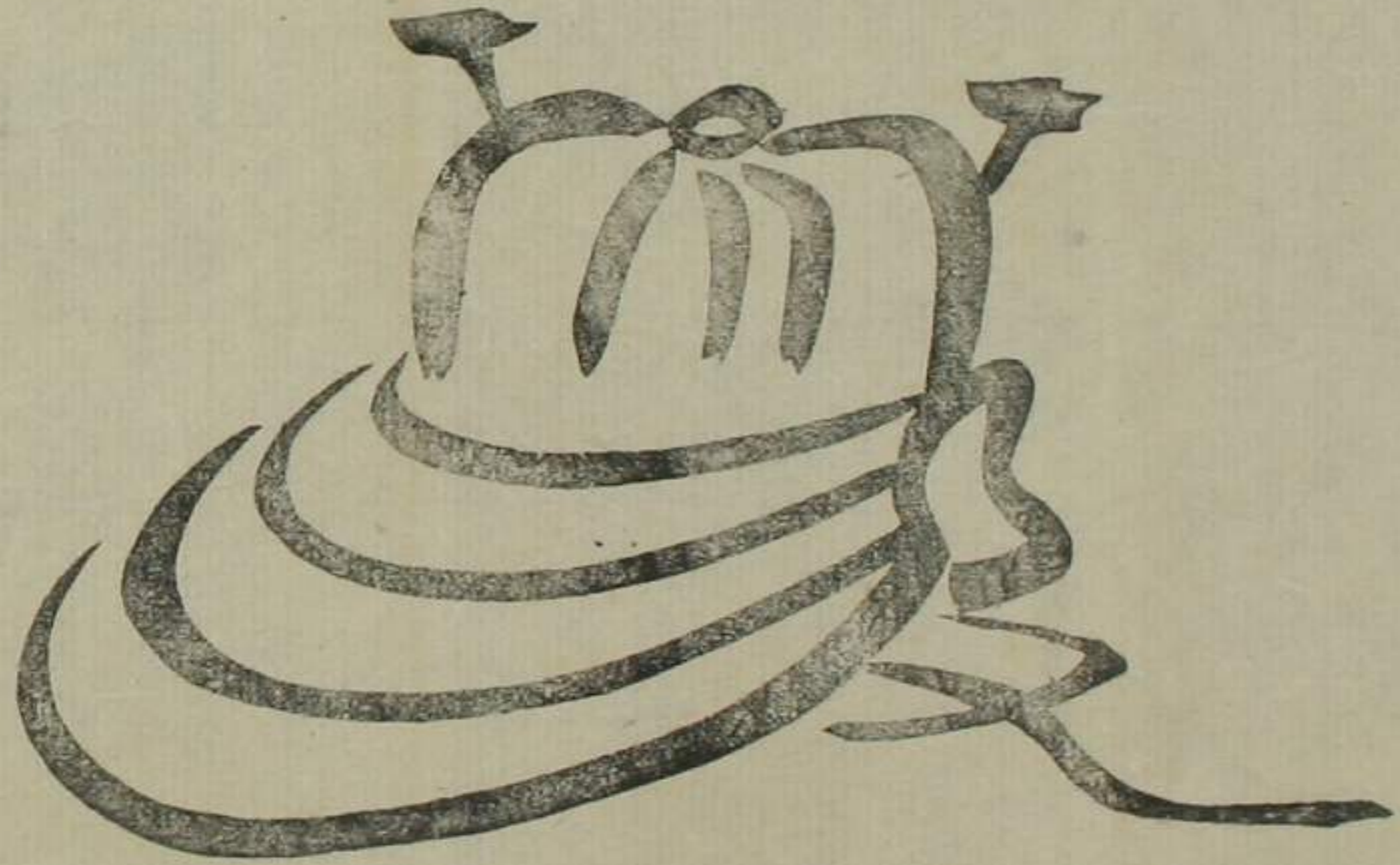


辰之端午  
於斗時庵  
俳諧余真



粽之把神と保くけと排青や  
ろ曲

誰かん  
いもろまきハの笠は  
巳ぬ

やれ南くまかりの宿の櫛り哉  
山茅

子の事何あや免あく日の昼ねる  
自然

ねろろろ  
傘ふ落りま高蒲草  
子時

るの雲軒此何やめの志あふ哉  
ろ危

